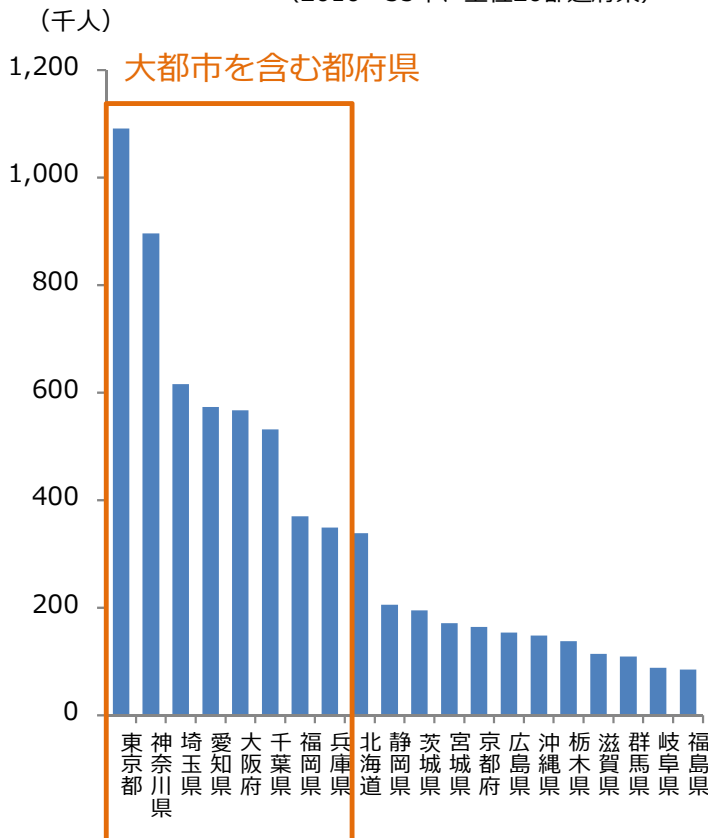


# 2035年問題

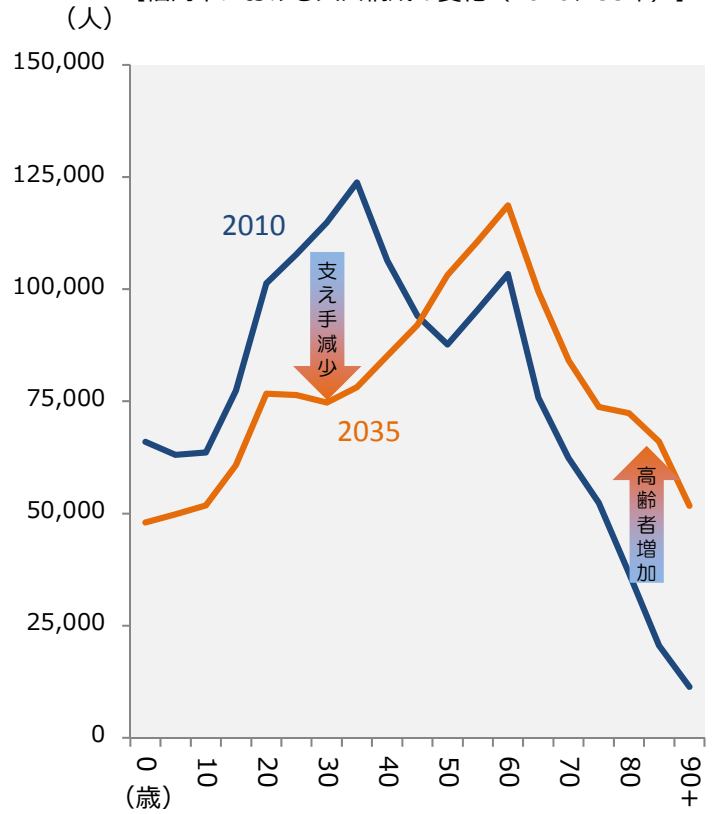
# 都市と団塊Jr世代の高齢化

【都道府県別の65歳以上人口増加数】  
(2010~35年、上位20都道府県)



資料) 国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口 (2012年3月推計)

【福岡市における人口構成の変化 (2010、35年)】



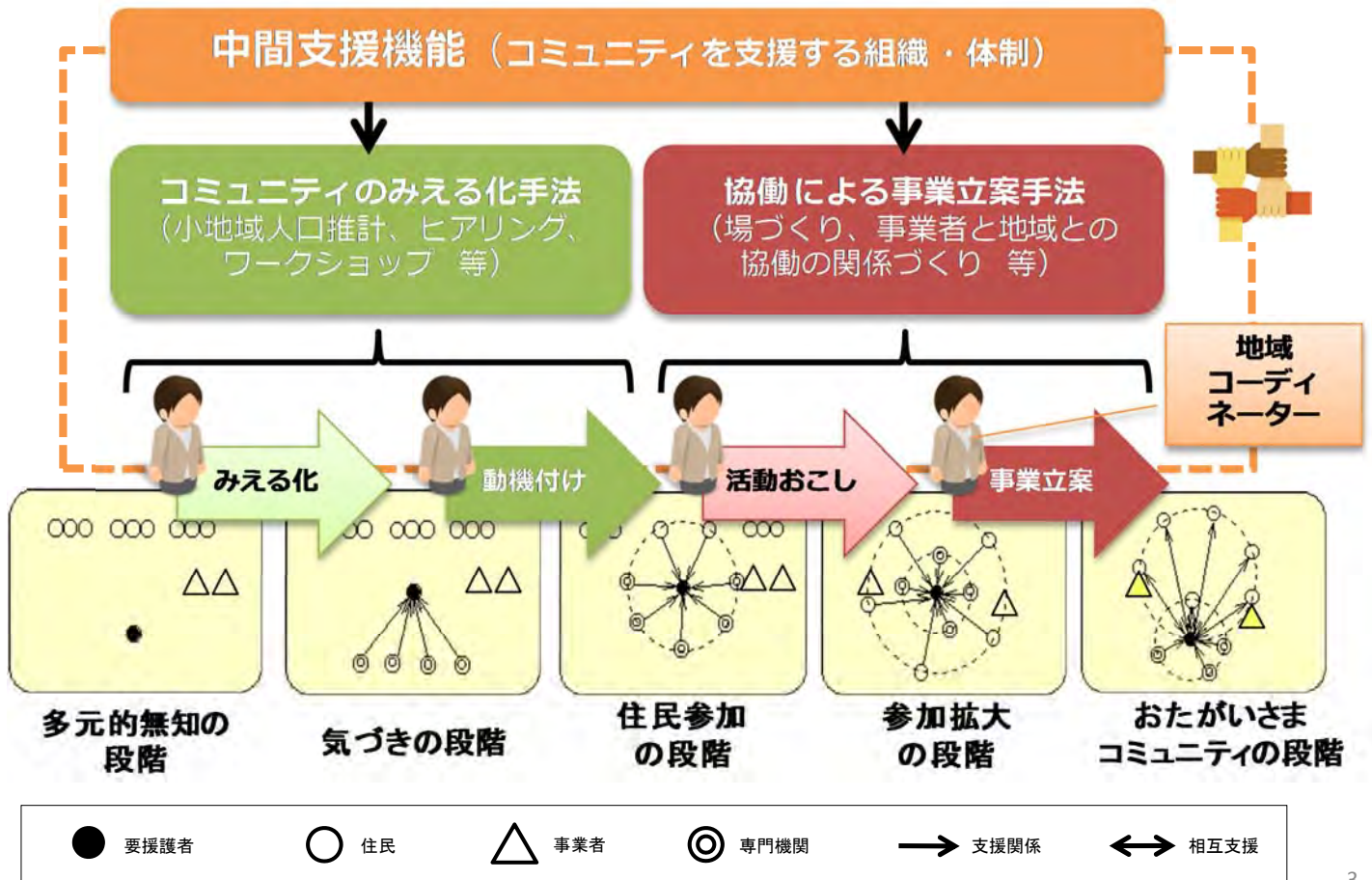
資料) 国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口 (2012年3月推計)<sup>1</sup>

## 多様な地域課題の発生



- これらの多様な課題を解決するには、機能統合、社会的包摂、協働、互酬といった関係性が必要とされる。
- しかしそういう関係性は、傍観者的無関心、多元的無知といわれる状態のままでは構築できない。
- そこで社会関係資本の強化を図る必要性がある。

# 支援手法の開発



## 地域コーディネーターと中間支援機能

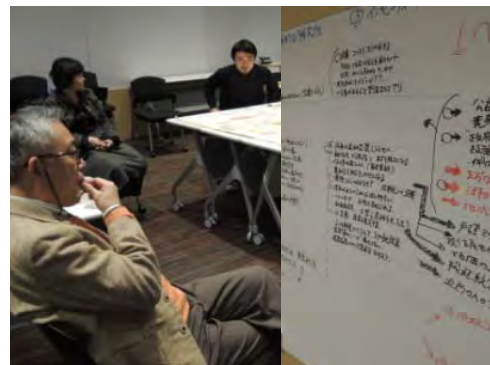
### ■ 地域コーディネーターの役割

- 個人
- 関係性を構築するために地域に直接関与する
- ステークホルダーが地域課題を自ら発見することを支援する
- 協働して課題を解決できるような行動変容・関係づくりを支援する

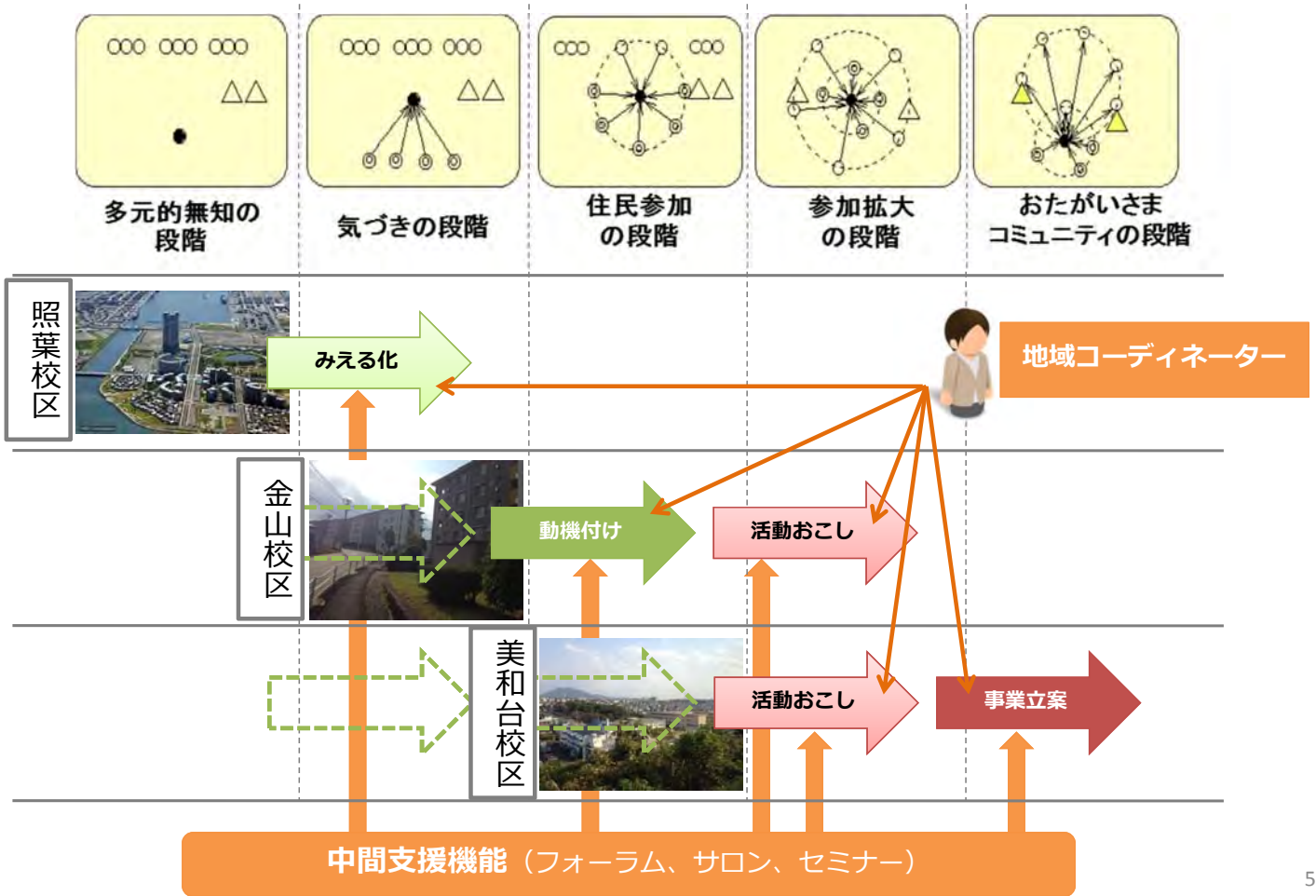


### ■ 中間支援機能の役割

- 専門家フォーラム
- 地域コーディネーターの後方支援
- 業者・行政・専門機関との関係づくり
- 地域コーディネーター向けのデータ・情報・ツールの提供
- 地域コーディネーターの養成



# どのように支援を実施したのか



## (1) 金山校区での支援の実施

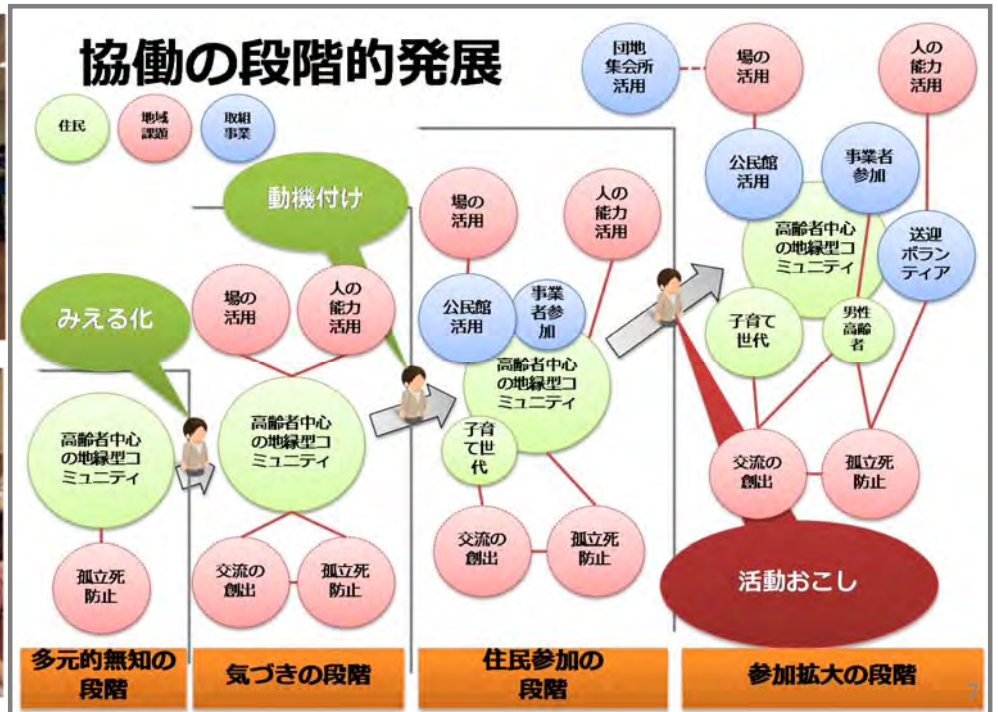
# 無縁死が起きている集合住宅街



- 区での取り組みでようやく「気づき」の段階になっていた。
- 「参加」の段階に進めるためには、地域の関係者の間になおためらいがあった。
- 地域コーディネーターは「おたがいさまワークショップ」や「おためしカフェ」でエンパワメント。



# 「他人事」から「わが事」へ 「おひとりさま」から「おたがいさま」へ 金山校区「カフェ・たまり場」の自主運営へ



## カフェを通じた参加者・協力者の拡大～やってみたい！の実現

カフェ×「やってみたいこと」のドット投票



人気があるものを次々に実現！

▽本の交換



▽落語



▽野菜の販売



▽パンの販売



そのほかにも、健康相談、歯の相談、お菓子提供、まわし読み新聞、子どもの宿題相談、音楽、備品購入 など、企業・団体などとのコラボレーションが実現

# 次世代問題に苦慮する戸建て住宅街



- コミュニティ・バス実験など「参加の段階」にある戸建て住宅群。
- しかし次世代の地域活動の担い手難に苦慮。
- 地域コーディネーターは高校と地域活動のマッチングによる「参加拡大」をエンパワメント。

## それぞれの努力から みんな違ってみんないい関係へ

「出番と居場所のある美和台」の実現にむけて  
 ・地域と生徒の協働による「地域包括ケアシステム」「デュアルシステム」のモデルへ



トライアル：小さく始めて、お互いに学びながら事業をつくる  
 ・高校の「体験授業」の枠を使って、生徒が地域と交流・支援を開始

具体化：まずできそうな活動を組み立てる  
 ・高齢者・子育てサロン/ 公園清掃 / 地域のご用聞き

想像：地域の将来像をともに作る  
 ・協働ビジョン「出番と居場所のある美和台」

共感：地域と事業者の「違い」「共通点」を知る  
 ・お互いのやりたいことの相違点・共通点を理解する

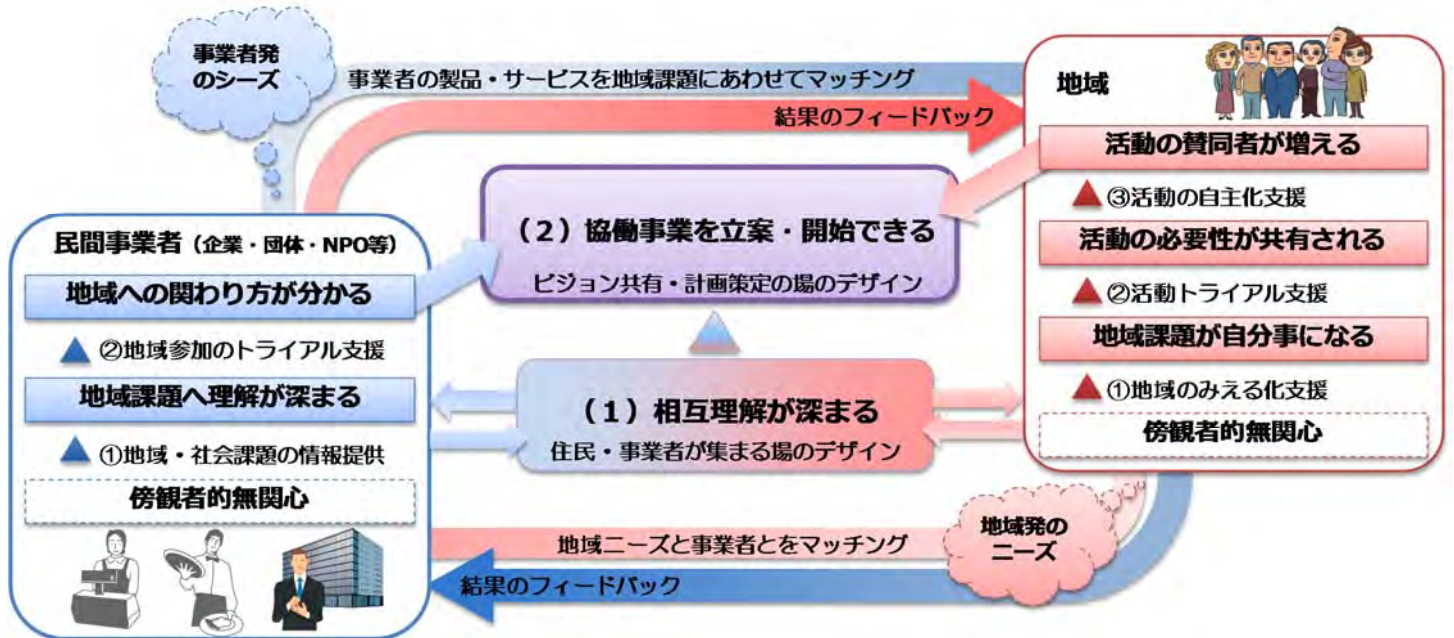


地域だけで解決できない課題は？  
 ・地域の次世代の担い手がない  
 ・多世代にわたる生活支援のニーズ

事業者が地域一緒にやりたいことは？  
 ・生徒の社会体験に結びつく、交流拠点づくりや就労体験事業を行いたい



# 地域と事業者との協働に至る条件整理 (リビングラボ開発への貢献)



# おたがいさまコミュニティに至るまでのロジック・モデル

